

# 秋 歯 技

発行  
No.67  
2017年1月27日

秋 田 県  
歯 科 技 工 士 会  
(一般社団法人)  
広 報 部

## 年頭のごあいさつ

会 長 今 野 悟

新年あけましておめでとうござ  
います。

年末から年始にかけては、雪も  
少なく会員の皆様におかれまして  
は穏やかな新年を迎えられたこと  
と心からお慶び申し上げます。

また、会の事業運営に対しまし  
て、ご協力を賜りましたこと重ね  
てお礼申し上げます。



昨年は、北から南まで、日本各  
地で地震・大雨・台風と自然災害  
が相次いで発生しました。幸いに  
も秋田県は大きな災害には縁遠く  
安心して過ごせていることに感謝  
しております。しかしながらそれ  
に心緩めることなく、歯科医師会  
との懇談会においても、災害時の  
協力体制を確認しあったところで  
す。

また、日本歯科技工学会北海道・  
東北支部の学術大会が、本県にお  
いて初めて開催された年でもあり  
ました。

ネームバリューの高い福田雅幸  
秋田大学病院教授・加藤武彦歯科

医師、本会会員の菅野雅人氏を講  
師に迎えたこともあり、県外から  
も多数の参加がありました。初め  
てのことで、技工士会の普段の研  
修会とは勝手が違い、気を遣うと  
ころが多々ありましたが、会員の  
絶大なるご協力があり、無事に大  
会を終えることができました。組  
織の力を改めて感じさせられまし  
た。

さて、本会は、公益法人格取得  
のために4年前の予算総会におい  
て、『秋歯技厚生会』を立ち上げ、  
会の福利厚生事業と共済事業を移  
管いたしました。結局公益格が  
とれず一般社団法人として新たな  
歩みを始めました。

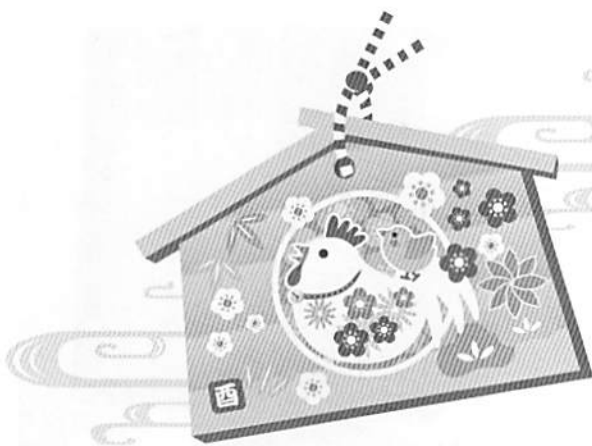
この件につき、平成28年度秋歯  
技厚生会総会で緊急動議があり、  
「一般社団法人である以上、福利  
厚生事業等を分ける必要性がなく  
なったのではないか、税制の面も  
鑑み、再び本会の事業として行っ  
た方がよいのではないか」との提  
言がありました。すでに本会総会  
が終了していたため、次回の本会  
総会において審議することが決し

ました。

つきましては、平成29年度総会  
では、改めまして定款・諸規程の  
改正が必要になってまいります。

2/3以上の会員の出席(委任  
状)が必須となりますので、本年  
5月下旬に予定されております総  
会には是非ともご出席いただきたく、何卒ご協力くださいますよう  
お願い申し上げます。

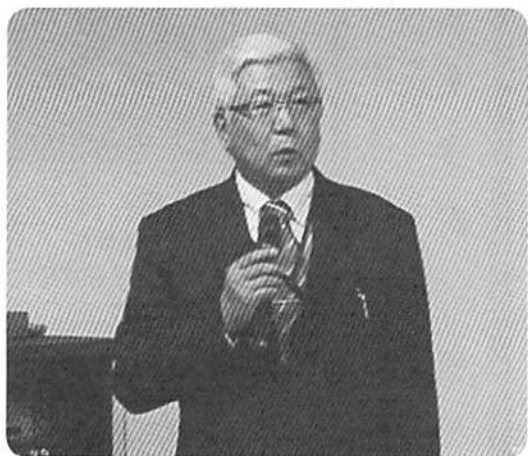
本年が皆様にとってより素晴ら  
しい一年であることを祈念いたし  
まして新年のご挨拶といたしま  
す。





# 日本歯科技工学会北海道・ 東北支部学術大会兼 生涯研修「基本」開催される

平成28年11月13日(日)午前10時より、秋田大学医学系研究棟第2講義室を会場として日本歯科技工学会北海道・東北支部が主催して学術大会が開催された。日本歯科技工学会北海道・東北支部 岩崎佳治氏(支部長)や本大会会長(今野会長)より挨拶があり、学術大会が開会した。



岩崎支部長

講演は、3人の講師によって行われ、講演Ⅰは、秋田大学医学部附属病院・病院教授の福田雅幸先生が「秋田大学医学部附属病院歯科口腔外科における歯科技工室とのコラボレーション」と題して述べられた。座長は同歯科口腔外科の高野裕史先生が務めた。内容は、秋大歯科口腔外科が県内で唯一の日本口腔外科学会認定の研修施設であり、口腔外科疾患の全県の三次医療を担っている為、診療の対象は「生後から終末期まで」で、対象疾患は「唇顎口蓋裂から口腔顎顔面領域の悪性腫瘍まで」と多彩であること。それに伴い歯科技工室では「ホッツ床から悪性腫瘍



福田先生

の手術に必要な3Dシミュレーションまで」を担っていること。これらを福田病院教授が秋田大学医学部に赴任してから20年間に歯科技工室とともに行ってきた診療について紹介された。

講演Ⅱは、本学会員菅野雅人氏により「多数歯齲蝕におけるラボサイドアプローチ」と題して述べられた。座長は北海道・東北支部理事の田中清志(私)が務めた。内容は、補綴治療を進めていく上で、歯科医師・歯科技工士がコミュニケーションを図り、治療ゴールのイメージを共有することは非常に重要である。そしてイメージを具現化し、補綴治療を成功に導か



菅野先生

なければならぬ、ということをも具体的に話された。

講演Ⅲは、神奈川県横浜市開業医の加藤武彦先生による「一〇〇歳高齢者時代に噛める義歯を作るためにデンチャースペース義歯への道」と題して述べられた。座長は秋田大学附属病院歯科口腔外科の中田憲先生が務めた。超高齢社会、顎堤吸収の強くなった患者さんに歯科界が「本当に噛める義歯」を提供できているだろうか？その解決策としてニュートラルゾーン理論による「デンチャースペース義歯」があること。その必要性をご自身の過去の体験から強く感じたこと。その作成方法を



加藤先生

説明された。そのテクニクを技工学会では初めてご講演くださったとのことだったが、これには歯科医師の理解が不可欠であるとともに、歯科医が理解出来て「それではこのような考えで作ってくれる技工所は」という時に、是非とも理解をして、出来ればそのテク

ニクをものにしていただいた、と話された。

今回の学術大会が現在の歯科技工において非常にタイムリーで、高齢化社会に直面している日本にとって、大変有意義な講演会であったと思われる。

(田中 清志)

## 東日本大震災復興支援チャリティー講演会・仙台大会に参加して

菅野 雅人

4月16日(土)、17(日)、宮城県内の電力ホールにおいて東日本大震災復興支援チャリティー講演会・仙台大会が、各日約九〇〇名、延べ一、八〇〇名以上を集め盛大に開催されました。

この仙台大会は東日本大震災の被災者に義援金を送ることを目的にしたもので、福岡、名古屋、大阪、東京の4会場で行われてきた企画の締めくくりとして「最後は被災地の東北で開催したい」という実行委員会各氏の総意として開

催が決定し、そこで34名の演者と全国5支部の代表5名として若手演者の発表が行われました。

その若手演者の発表に北海道・東北代表として私が参加することになったのですが、きっかけは岩手の先輩技工士さんから、「1月の北海道・東北代表の選考会に申し込んでおいたから」という連絡からでした。最初は「えっっ」という感じだったのですが、東北開催だし自分の勉強にもなるだろうからやってみようと思ひ予選会

に参加しました。

1月31日に行われた北海道・東北代表の選考会に秋田からは自分と佐々木順也さんが参加し、インプラント、セラミック、デンチャーなど素晴らしい発表が繰り広げられました。14名の演者の中からなんと幸運にも自分が代表に選ばれました。予想外の結果に会場がざわついていて覚えています(笑)

4月の本大会では著名な演者の方々に混じり、若手枠の北海道・東北代表として発表し、審査の結果ここでもまさかの最優秀賞をいただくことができました。賞をいただいたこともさることながら、歯科技工士の講演会では過去最大の規模で行われた講演会で発表できたこと、そして東日本大震災復興支援チャリティー講演会に関わることができ、私自身とても貴重な経験がすることができました。この経験をこれからの技工人生に活かしていきたい、東北そして秋田の歯科技工業界を少しでも盛り上げていけたらと思っています。

(菅野 雅人)

第139回  
種 苗  
交 換 会

歯 科 技 工 フ ェ ア 開 催

10月29日から11月4日まで湯沢市で第一三九回種苗交換会が行われました。

その中で秋田県歯科技工士会のブースを出して、休日である10月30日と11月3日に毎年恒例の手型取りをやってきました。

今年には県南の開催ということ、県南支部が中心となって事業を行いました。他支部からも忙しい中ご協力をいただきました。ブースの場所が湯沢雄勝広域交

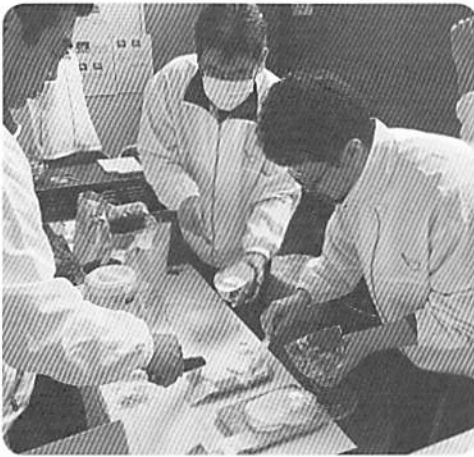


流センターであり、飲食系のブースからかなり離れた場所であったため、人があまり来ず、手型をとつたのは30日に30人、3日は15人と例年と比べると大幅に少ない人数でした。

3日には衆議院議員の村岡敏英議員がブースを訪れ、手型をとっていかれました。

今年には由利本荘市の開催です。ご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。

(佐々木 順也)



大 森 山 動 物 園 での  
技 工 フ ェ ア

6月5日に大森山動物園で技工フェアを開催しました。今回で4回目ですが、今年も天候に恵まれました。

動物園側の都合で、今年は会場が変更になり、客足が伸びないのでは、と懸念されましたが、入園ゲート前チラシを配布したこともあり、歯の健康相談には80名、手型採取には一六二名、と今までにないほどの参加者が訪れ、スタッフが対応に追われました。

今までと配置を変えたせい、子供たちも足を止め、技工物に興味を持って見てくれていたことには、うれしい思いをしました。

園長の話も好評で、私たちもためになる話を聞くことができました。

秋田魁新聞にも掲載されて、昨年テレビニュースでも取り上げられました。我々の活動が県民に知られてきていると実感しています。

この活動にご協力いただいた、歯科医師会・歯科衛生士会の皆様や会員の皆様へ感謝申し上げます。

# 東北ブロック会議報告

平成28年10月8日午後1時から、山形グランドホテルにて第58回東北ブロック山形会議が行われました。本県からの出席者は今野会長、佐藤副会長、渡辺専務の3名に佐々木順也常務理事が同行となりました。

各県から議題と提案理由が説明され意見交換となりました。

### 1. 震災マニュアルについて

岩手県で作成されたマニュアルを参考に各県会長名義で覚書、規約を作っておく。

### 2. 技士のGマーク導入へ

昨年宮城県技から提案された案件である。安全・安心マークとしての導入のためのプロジェクトの立ち上げと各県技から選出されたメンバーの顔合わせ。本県からは佐々木順也常務理事がメンバーとなり発案者からの更なる説明を受けた。

### 3. 野球大会について

北東北3県と南東北3県に分かれていたが、チームを出せない県があり周年大会の開催を考えてほしいと提案があったが、会議に野球部関係者の出席者がいない為決められず、各県に持ち帰り関係者の意見を聞くこととなった。

### 4. 組織拡充・生涯研修について

各県大変頭を悩ませている様子で、①技工に拘らず様々な内容の視野を広げた研修を行ってみる  
②歯科医師会との共催も取り入れる  
等の意見交換がなされた。

### ※Gマークについて

昨年度のブロック会議で提案され、導入する方向で決議されたもので、今回の会議では、各県からの担当者が出席し、担当者部会を開いて協議した。東北ブロックから全国に向けてのプロジェクトとして、各県が協力発展させることを確認した。

(佐藤 仁)

# 歯科医師会との懇談会

昨年11月5日、秋田市にて秋田県歯科医師会との懇談会が開かれ、藤原会長、今野会長の挨拶の後、

①緊急災害時における連携について  
②歯科技工士不足について

を議題に意見交換を行いました。

①では、有事の際、義歯修理や製作等で速やかな協力体制を展開できたらと意見が一致し、歯科医師会ではすでに独自のマニュアルがあるものの、さらに整備進行中であり、まとまったら技工士会にも打診したいというお話をいただきました。

②については、技工に従事する若い層が減少していることから、いずれは技工士不足に陥る恐れのあることに対し、先生方も危機感をお持ちのようで、より現状を把握し、考えて行きたいとして、双方共に努力を続けていくことで同意がなされました。

現在の秋田県歯科医師会執行部

は、より同じ目線で共に問題に向き合っていたただけなので、個人的にもありがたいと思う次第です。

こうした協議を終え、懇親会へと移行しましたが、ここでは衛生士の福士会長、甫飯副会長、衛生士連盟の川村会長も同席し、会食しながらも意見を交わし、「これから」に期待が持てる有意義な時間を過ごせたと思います。

今後も、ただ理想を言い合うだけの机上の空論にならないよう、地道でも三会一緒に発展していけるよう、努めて参りたいと思います。

(渡辺 倫史)



【中央支部】

新年明けましておめでとうござい  
ます。

二〇一六年の中央支部の活動を  
報告させていただきます。

6月26日ユースパルにおきまし  
て、宮城の大野先生によります講  
習会が行われました。

大野先生は今回で3回目の来秋  
となり、会員は22名集まり、今回  
はとくに大野式の蠟提を集中的に  
やって頂き、普段なんとなく作っ  
ているものが、いかに適当なのか  
思い知らされました。

また、いろいろな模型を持って来  
られて、その中にアントニオ猪木  
のものまでありました。

短い時間の中でも驚きやら、発  
見があり大変有意義な時間で、機  
会があれば4回目もいいかないと思  
わせる濃密な講習会でした。

次に、8月6日浜田浜において  
恒例のBBQが行われました。今  
回は予約の段階でトラブルが発生  
して危うく外で行わなければいけ  
なくなる所でしたが、海の家のマ  
スターのおかげで、いつもよりも



いい場所で楽しむことが出来まし  
た。

後は相変わらずのビールと肉で  
大満足の一日となりました。

最後に12月3日いつもの山王焼  
肉わかばで忘年会を行いました。

今回は、県南、本荘、能代支部  
からも参加して頂き、いつも以上  
にピング大会も大盛り上がりでし  
た。

今年もいろいろな行事が  
あると思いますが、皆様  
よろしくご協力お願い致  
します。

(佐々木 秀行)

【県南支部】

あけましておめでとうございま  
す。

平成28年の県南支部の活動の報  
告です。

1月23日に横手ゆうゆうプラザ  
で県南支部の新年会を行いました。  
新年会の前に東成瀬村のジュ  
ネスデンタルクリニック院長の小  
菅一弘先生に「超高齢化社会にお  
ける補綴治療について」というタ  
イトルで講演をいただきました。

2月7日に大曲イオンショッピ  
ングセンターで恒例の献血ボラン  
ティアを行いました。

7月16日に湯沢市の平成園にて  
義歯ネーム入れボランティアを行  
いました。毎年、湯沢雄勝歯科医  
師会と合同で行なっている事業で  
す。歯科医師6名、歯科技工士15  
名の参加がありました。作業終了

後懇親会を行いました。  
今回は医師が1名見学に  
来られました。

9月4日に秋田県歯科  
技工士会との共同事業  
で、大曲市民交流セン

ターにて生  
涯研修を行  
いました。

横浜の歯科  
技工所(株)  
メディナの  
山本洋一さ  
んに来てい  
ただき、「顎  
堤条件に左  
右されない」ニュートラルゾーン  
理論による「デンチャースペー  
ス義歯」その理論と実際」という  
タイトルの講演とデモをやった  
いただきました。歯科医師2名、  
歯科技工士23名の参加がありまし  
た。前日の懇親会でも貴重なお話  
を伺うことができました。

10月30日と11月3日には、湯沢  
市で行われた種苗交換会で技工  
フェアを行い、手形取りをやりま  
した。手形をとった人数は30日は  
30人、3日は15人と例年より大幅  
に少ない人数でした。  
今年も精力的に活動していきたく  
と思います。  
よろしくお願ひします。

(佐々木 順也)



### 【能代山本支部】

平成28年度の支部行事の初めとして、7月23日にレクリエーションを行いました。毎年開催されている能代の花火を鑑賞しました。天候にも恵まれてとても楽しい時間を過ごすことができました。

9月14日、能代市内の独立行政法人地域医療機能推進機構あきた病院附属介護老人保健施設に入れ歯ケース一〇〇個、入れ歯洗浄剤4箱を贈呈しました。この日は先



方で敬老会が行われており、沢山の施設利用者さんから感謝され、施設長の石岡隆さんは、近年の介護の現場では口腔ケア

は必要不可欠な事項であり、早速利用したいと喜んでくださいました。今後も地域内のいろいろな施設に喜んで頂けるように継続していきたいと思えます。

9月17日には、株式会社トクヤマデンタルの専属講師・曽我俊介さんを迎え、研修会を行い、自社

製品シリコーン系軟質裏装材「ソフトトライナータフ」を紹介して頂きました。短い時間でしたが、非会員の方の参加もあり、とても勉強になりました。

これからの事業としては新年会を予定しています。一人でも多くの会員の皆様の参加を期待しています。これからもよろしくお願いたします。

(栗山 省平)

## 支 部

### 【本荘由利支部】

日々の生活を必死に送っている中、気がつけばまたも年が明けてしまいました。

皆様はどのように新年を迎えられましたでしょうか。

本年も昨年以上にご多幸でありますよう、ご祈念を申し上げます。

さて、本荘由利では総会などにより意義のある活動内容を話し合い、模索しておりますが、結局のところ、ここで特筆すべき行事もできておらず、ネーム入れを行うにしても、こちらから働きかけることは控えなければならぬ状況ですし、さながら迷子のような状態と言えるかもしれません。

そんな折、9月に大仙市で行われた研修会と、11月に秋田市で開催された学会に参加してきましたが、そこには訪問歯科の加藤武彦先生と歯科技工士である山本洋一先生の関係や、湯沢・雄勝歯科医師会と県南地区歯科技工士会との協力体制があり、一種の羨ましさを感じると共に、ひとつのチー

ム医療の姿があったように思いました。

理事会での報告や、佐々木順也氏との情報交換で少しばかりは伺ってはいましたが、今回は実感させられました。

本荘由利も昔は地元の先生方とある程度の連携がありました。が、県南地区の活動をヒントにできれば衛生士会も巻き込みながら、今一度、あの頃のような活動ができたら……と、今はまだ一人でそんなことを思うばかりですが、まずは第一歩として由利本荘歯科医師会と本荘由利地区歯科技工士会の総会で議題に取り上げていただき、一緒に考えていく機会になったらいいなと思っております。

本荘由利地区会員現在15名、比率から言えば若い会員も多いです。どうやら今年の種苗交換会は由利本荘市のどこかという話もありますし、皆様のご協力や支援を賜りながら、元気に頑張っていきたいと思えます。

どうぞ本年もよろしくお願いたします。

(渡辺 倫史)

## ボウリング大会

昨年7月3日(日)、秋田市のラウンド1でボウリング大会が開催されました。会員のみならずご家族や職場仲間なども参加くださり、昨年を上回る24名で大いに盛り

り上がりました。ボウリングの後は恒例のくじ引き。今年も豪華景品の数々でした。

景品をGetした方々(来年はあなたに当たるかも……ぜひご参加ください!!)

賞品	支部名
窓ふきロボット	本荘由利
ピザ窯	中 央
ビールギフト	本荘由利
果物セット	中 央
かき氷器	県 南
バランスボール	県 南
ポップコーンメーカー	能代山本
水筒	県 南
CoCo壺カラーセット	中 央
会長賞 (スロージューサー)	中 央
ユーキデンタル賞 (ファミコン)	県 南



真坂さんご子息  
三浦英人さんご子息  
真坂さん  
三浦英人さん  
佐々木順也さん関係者  
佐々木順也さん関係者  
福士さん  
西宮さん  
会長ご子息  
三浦英人さんご子息  
佐々木順也さんご子息



## 北東北野球大会

10月9日、青森県・岩手県・秋田県、各県の技工士会野球部による親睦野球大会が行われました。

今回は開催予定地が岩手県でしたが、同時期に国体が行われており、球場が抑えられないということもあり、昨年に続き青森県で行われました。

我々、秋田チームは日が昇る前に出発し、九時から三県による熱い戦いの幕が開かれました。昨年の三位という結果の雪辱を晴らすべく、全力プレーで試合に臨んだのですが……

秋田2—5岩手  
秋田4—5青森

接戦を物にできず、見事に昨年同様の結果となりました。結果は伴わなかったものの、悪天候の予想に反し天気にも恵まれ、日頃のストレスが汗と共に流れ落ち、笑顔で楽しくプレーをし、一番の目標であった各県の親睦を深めることができました。

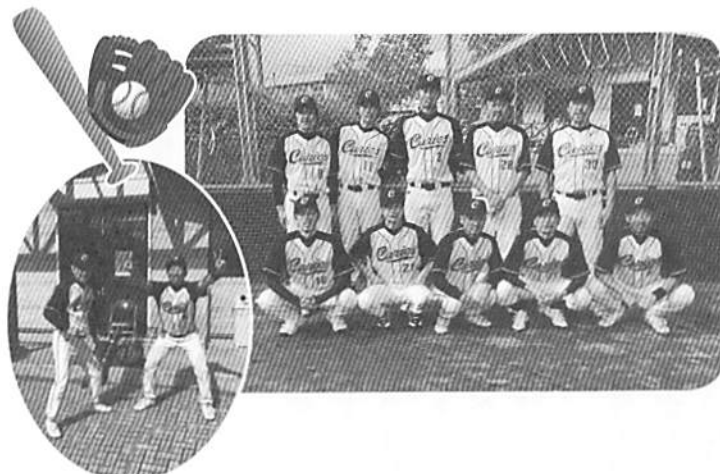
試合後には、青森県の美味しいお酒と料理を堪能し、負けたこと

も忘れて大盛り上がりの一同でした。

来年は岩手県にて開催が予定されているので、練習や試合を少しでも行い、連敗に歯止めをかけたいものです。

野球を通して各県の技工士会の親交を深める事ができる大会なので、毎年途切れる事なく長く続けられるようご協力お願いいたします。

(田口 勇樹)





2017年11月11日 発行 田 崎 啓 一



佐竹知事に結果を報告した3選手。左から高橋、佐久間、坂本

### 佐久間、世界6位を報告

#### アムステルダム 本県選手が県庁訪問

アムステルダムの世界選手権大会(昨年10月1〜9日・ブルガリア)に出場した県連盟所属の3選手が10日、県庁を訪れ佐竹知事に結果を報告した。

訪問したのは出場した4人のうち、理事長兼選手の高橋真(42)、佐久間美智子(49)、坂本英隆(45)の3人。佐久間は女子マスタートーズ40歳以上70kg以下ライトハンドで6位に食い込み、その後の全日本選手権大会(昨年12月18日・東京都)で優勝を果たした。

佐久間は世界選手権を振り返り、「体調を崩し不本意な結果となった。今後は体調管

理を徹底していきたい」と話したが、上位の常連と互角に戦えたのは収穫だった」と語った。

佐竹知事は「ルールは一見単純だが、体の使い方が奥深い競技だ。これからも頑張ってください」と激励した。

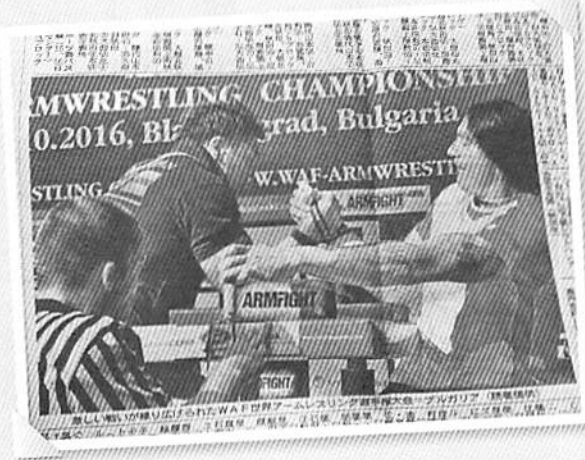
県連盟は2005年に設立され、昨年10月時点で登録者は35人。秋田、大館、能代、横手の4市でそれぞれ週1回練習している。

(佐藤裕奈)

会員の坂本英隆さんが、ブルガリアで開催されたWAF世界アームレスリング選手権大会に出場しました。大会後には県庁を訪れ、佐竹知事に結果を報告しました。

関連記事がさきがけ新聞に掲載されましたのでご覧ください。

坂本さん、これからも頑張ってください!!



# われらの仲間 世界で活躍!!

## 会 員 動 向

### ◆新入会者

・寺島 伸太郎さん  
(てらしま しんたろう)

【中央支部】二〇一六年5月入会  
勤務先：(有)今野齒科技工所

### ◆結婚

寺島 伸太郎さん 【中央支部】  
西宮 知里さん 【県南支部】

### ◆出産

・三浦 英人さん  
淳子さん 【中央支部】

お子さんの名前

寛玄(かんげん)ちゃん

※会員・会員の妻が出産された場合、日技からもお祝い金がいただけます。(一子につき2万円)  
申請は事務局まで!  
お忘れなく!!

### ◆お悔やみ

佐々木 良太さん 【県南支部】  
11月4日に亡くなりました。  
ご冥福をお祈りいたします。

東北ブロック会議において、宮城県技から提案されました。Gマークは、全日本トラック協会が実施しているもので、いわば適マークのようなものです。

我々も技工物が安全・安心であることを、歯科医師や患者さんに周知するため、同様のマークを作成してはどうか、という提出議題にそって、意見を交わしています。

詳細は、今後議論を重ねていく必要がありますが、東北ブロックから全国にこの運動を拡げていこう!と取り組んでいます。

これからの進捗状況をお知らせしていきます



仮のマーク 仮のデザインの写真

## ● 献血ボランティアのお知らせ ●

【と き】 平成29年2月5日（日）

【と ころ】 イオン秋田ショッピングセンター

秋田県歯科技工士会では、献血ボランティアにご協力くださる方を募集しております。

献血用血液は、大量の出血を伴う手術や難病の方々に輸血されます。



あなたも誰かの力になれるのです。

献血は命をつなぐ活動です。秋田県歯科技工士会は、献血活動を応援しています。冬場は血液が不足しやすい傾向があるためにご協力お願いいたします。

## 日本赤十字社秋田県支部に寄付をしました

かねてより日本赤十字社秋田県支部から活動資金のための寄付の依頼があり、理事会で検討いたしました。これまで献血ボランティアを行ってきた経緯もあり、できる限り協力しようとの結論になりました。このほど皆様からお預かりした貴重な会費の一部を寄付いたしましたのでご報告いたします。



## 事務局より

- ☆勤務者から自営者になられた方
- ☆自営者の方で廃業された方
- ☆現住所、勤務先などが変更になった方  
→必ず事務局にご連絡ください。
- ☆自営者の方へ！



事業所会費（個人事業者 月1,200円、法人事業者 月2,500円）は、「1月1日現在事業者であれば、その年の4月分～翌年3月分まで納入対象」となります。  
【例】H29.1.1の時点で自営者の方  
H29.3月に廃業しても、H29年度（H29.4月分～H30.3月分）は事業所会費がかかります!!

### （一社）秋田県歯科技工士会 事務局

〒019-2411 大仙市協和境字境26番地 電話・FAX 018-892-2447

E-mail : akisigi@ceres.ocn.ne.jp

ホームページ : <http://www.akisigi.com/> (HP担当 : 県南支部 荒川大祐さん)

昨年ホームページのURLが変更になり、内容もリニューアルいたしました。どんどん訪問してください!!